

発行 六会地区防災リーダー連絡会
事務局 六会市民センター地域づくり担当
TEL 81-6677 FAX83-2298

(編集担当)
六会マンション自治会、小栗塚自治会、
トーカンマンション自治会、富士見台自治会

これから台風シーズンを迎えます。地区防災拠点本部（六会市民センター）と編集担当自治会の防災リーダーで座談会を開き、記憶に新しい昨年の台風19号を振り返ってみました。



【防災リーダー】

「災害時、六会マンション自治会では・・・」

六会マンションは境川に面した立地で、藤沢市の洪水ハザードマップでは浸水深1.0m～2.0m未満のエリアに色分けされています。台風19号の当日、藤沢市の防災無線による避難勧告らしきものが聞こえましたが、強風のため内容が聞き取れず、ツイッターで内容を確認しました。高齢者に対する避難勧告が出たと思います。これがきっかけとなり、六会マンション自治会内の数名で連絡を取りながら、境川が氾濫するかしなないかを予測しました。情報源は次の3つでした。



①六会マンション（5階）からの直接の目視

…境川の越水まで、あと50cm位に見えました。県立境川遊水地公園は全域が冠水していました。

②気象庁の洪水警報の危険度分布 (<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>)

…境川上流では一部氾濫したようで、当地でも氾濫の危険があることがわかりました。

③藤沢市の河川カメラ監視システム (http://os3-359-12855.vs.sakura.ne.jp/fujisawa_public/)

…水位の高い所が多いとわかりました。（残念ながら途中から映像が来なくなったので、強風による不具合か、アクセスが集中したため処理しきれなくなったのかもしれません。）

<気象庁 洪水警報の危険度分布>



<河川カメラ監視システム>



得られた情報から、2階以上は浸水の心配はないものの、1階は浸水の危険があると考え、自治会の役員で手分けして、1階の住人各世帯に「藤沢市から避難勧告が出たので避難するかどうか各自で判断してください」との内容を電話で伝えました。

同時に市民センターに電話してセンター内の避難の状況を確認し、市民センターの収容数には限りがある、との返答をもらいました。

確認はしていませんが、結局 六会マンションからは誰も避難しなかったようです。後日、自治会で反省会を持ちました。六会マンション自治会として浸水被害を予想して安全宣言を出したり、または逆に「1階の住人は全員避難してください」といった避難を強制したりすることは、想定しにくい気がします。



「避難の判断については・・・」

【地区防災拠点本部】

災害のなかでも、水害時の避難に関しては判断が難しいですね。遊水地をつくるなど対策はしていますが、どうしても避難しなければならない場面も出てきます。防災行政無線のメッセージは長すぎても、短すぎても良く分からないものになってしまいますので、各自で聞き取れたメッセージのワードから、災害の状況を把握し、どのタイミングで自分が行動しなければならないのか、シミュレーションしておかなければなりません。そのためには、市が発信する情報の意味（下表参照）を事前に理解しておくこと、自分が住んでいる地区の実情や状態を知っておくことが必要です。

警戒レベル	避難情報等	避難行動等
警戒レベル 5	災害発生情報	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。
警戒レベル 4 全 員 避 難	避難勧告 避難指示（緊急）	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難準備・ 高齢者等避難開始	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、妊娠中の方、乳幼児など）とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。
警戒レベル 2	洪水注意報 大雨注意報等	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル 1	早期注意情報	災害への心構えを高めましょう。



「防災行政無線が聞こえないときの情報収集は・・・」

【防災リーダー】

ふじさわ防災ナビのツイッター（https://twitter.com/Bousai_Fujisawa）で情報収集されたとのことですが、ふじさわ防災ナビのメールマガジンを登録（mm@fujisan.shin.net に空メールを送信）しておくとなら、防災行政無線の放送内容がメールで送られてくるそうです。

また、キャリア（docomo、au、softbank）携帯利用者は、緊急速報メール、エリアメールを自動受信できるようです。レディオ湘南のスマホアプリや、防災行政無線の内容を電話で聞けるテレドーム（0180-994-144）も使えますね。

ツイッター QR



メルマガ QR



「避難所の情報については・・・」

【地区防災拠点本部】

避難先に関する情報が混乱するかもしれませんが、避難勧告が出た際には、あらかじめ決められている水害避難所は全て開設されているものとお考えください。

また、車両やペットの避難については、新たに秋葉台体育館で受け入れていくほか、NPO法人与自然災害避難スペースの間仕切り資材供給に係る協定を結ぶなど、今後に向けての対応も図っております。



「これからの情報伝達のあり方とは・・・」

【防災リーダー】

避難については、市のオフィシャルな情報に加え、今後は市民同士のつながりによる情報も多くなってきます。デマに気を付けながら、賢く情報を仕入れて判断することが大切だと思いました。

※防災リーダー連絡会の活動の様子や過去のリーダーニュースを
ご覧になりたい方は、《六会地区ポータルサイト》をご覧ください。

六会地区ポータルサイト

検索

もしくはQRコードで⇒

